

震災遺産保全にあたっての活動理念(概要)

福島県立博物館 震災遺産保全チーム

1 歴史として震災を伝えるために

当館では東日本大震災によって生まれた様々なモノを震災遺産と呼び、それが置かれた環境や状況(場所)、そこに至る経緯や人々の経験(物語)を含めて調査収集してきました。震災と原発事故は日本史や世界史としても重大な出来事であり、それを継承・共有していくことは地域の総合博物館としての大きな使命です。そのために、当館では震災遺産を歴史資料として評価し、位置づけ、発信することを目指しています。

2 「現場」・「現物」から多様な経験を守るために

当館ではその専門分野を活かしながら「現場」や「現物」をもとに震災を伝えてきました。実物を介して、見る人は個々に多様な経験や意味を想起することができます。震災をめぐる記憶や経験はひとつではありません。重要なのはそれぞれの立場から震災を考え、伝えることでしょう。未来にわたって多様な経験をつないでいくために、当館では「現場」・「現物」の記録と収集に努めています。

3 地域の歩みと震災後の暮らしを切り離さないために

当館では、震災遺産と同時に地域の歴史を物語る文化財も保全してきました。震災のみを切り取って伝えるのではなく、そこにあった歴史や文化を併せて伝え、また今後作られていく地域の人々の営みも同時に守り継承していくことを目指しています。総合博物館としての立場から、震災を経験した地域の過去・現在・未来の全てに寄り添っていきます。



活断層調査 (いわき市田人地区)
2014.7.3



新聞の束の放射線量の測定 (浪江町)
2014.9.30



資料収集活動 (浪江町) 2014.9.30



道路標識の表面保護処理 2015.10.16



高等学校への出前講座 (福島市) 2016.6.7



聞き取り調査 (南相馬市) 2019.2.5

お問合せ

福島県立博物館
Fukushima Museum

〒965-0807 会津若松市城東町1-25
TEL 0242-28-6000 FAX 0242-28-5986
HP <https://general-museum.fcs.ed.jp/>
E-MAIL general-museum@fcs.ed.jp



■JR会津若松駅から約3km
・タクシーで約10分
・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分
(鶴ヶ城三の丸下車すぐ)
・まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分
(鶴ヶ城三の丸下車すぐ)

🚻 車椅子使用者用駐車場

博物館西側「鶴ヶ城三の丸」バス停そば:2台
一般駐車場内博物館入り口側:3台
※ご不明の点はお問合せください。



震災遺産を考える

福島県立博物館 令和2年度冬の企画展

次の10年へつなぐために

主催/福島県立博物館 会場/福島県立博物館企画展示室 開館時間/9:30~17:00(入場は16:30まで) 休館日/毎週月曜日、2月12日(金)、2月24日(水)
観覧料/一般・大学生500円(20名以上の団体400円)、高校生以下無料 ※企画展料金で常設展もご覧いただけます(企画展開催期間中有効)。

年間パスポート/1,500円 ※ご購入日より1年間、当館の常設展・企画展を何回でもご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる場合があります。※ご来館の際は感染症対策にご協力ください。体調に不安がある場合はご来館をご遠慮ください。なお、混雑時には入場を制限する場合があります。

会期/令和3年1月16日(土) ⇒ 3月21日(日)